

# 令和4年度 下松教育の指針



■開校150周年記念 バルーンリリース(花岡小)

下松市教育委員会  
学校教育課

# 1

## 下松教育の展開

### 基本目標

### めざす児童生徒像

### 学校運営の基調

心豊かに生きる力を育む

ふるさとに誇りをもち、たくましく未来を切り拓く、心豊かな下松っ子

コミュニティ・スクールのしくみを生かした学校づくり

I C Tの活用による教育活動の質の向上

教職員の人材育成の推進

### ● 重点目標1: 地域とともにある学校づくりの推進

#### 主要課題

- ① コミュニティ・スクールの取組の推進
- ② 地域の特色を生かしたふるさと教育の推進
- ③ 安全・安心な学校づくりの推進
- ④ 幼保・小及び小中の連携教育の推進



■地域活性化プロジェクトの提案（下松中）

#### 取組の視点

- 課題の共有による取組の充実
- 高等学校や関係機関との連携の強化
- 郷土の自然や伝統、文化を生かしたふるさと学習の充実
- 地域に根ざし、地域の特色を生かした教育活動の充実
- 地域ぐるみの学校安全の取組
- 新型コロナウイルス感染症対策の徹底
- 校種間の授業参観や児童生徒の交流活動の推進
- 中学校区の重点目標の設定と小・中学校の共通実践

### ● 重点目標2: 確かな学力と個性を育む教育の充実

#### 主要課題

- ⑤ 自ら学び、考え、判断する力を育む教育の推進
- ⑥ 自立と社会参加を支える特別支援教育の推進
- ⑦ 社会の変化や時代の進展に対応した教育の推進



■ロボットの動きをプログラミング（豊井小）

#### 取組の視点

- 基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用する力の育成
- 主体的に学習に取り組む態度の育成と学習習慣の確立
- 各教科等における言語活動の充実
- 理教教育の質の向上
- 個に応じたきめ細かな学習指導と評価の工夫
- 「キラリくだまつ授業づくり」を活用した授業改善
- 組織的な取組の推進
- 一人ひとりの教育的ニーズに応じた相談・支援体制の充実
- 教職員の専門性の向上を図る研修の充実
- I C Tの効果的活用による情報活用能力を育む情報教育の推進
- グローバル化に対応した教育及び国際教育の推進

### ● 重点目標3: 豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

#### 主要課題

- ⑧ 豊かな人間性や社会性を培う教育の推進
- ⑨ 体力の向上と健康の保持増進を図る健康教育の推進



■全校児童による地域の清掃活動（東陽小）

#### 取組の視点

- 児童生徒の心に響く道徳教育の推進
- 豊かな感性を育む読書活動の推進
- 自らの未来を切り拓くキャリア教育の推進
- 豊かな心を育むあいさつ運動や体験活動の充実
- 規範意識の醸成とコミュニケーション能力を育成する指導の充実
- 生徒指導上の諸課題への組織的な取組の充実・強化
- 一人ひとりを大切にする人権教育の推進
- 運動に親しみ、体力の向上をめざす学校体育の充実
- 学校・家庭・地域のつながりを意識した食育の推進
- 安全で安心な学校給食の提供
- 心身の健康の保持増進を図る健康教育の推進
- アレルギー疾患に対する取組の充実

### ● 重点目標4: 組織的・機動的な学校づくりの推進

#### 主要課題

- ⑩ 学校の総合力の向上に向けた組織的な学校運営の推進



■外国の小学生と英語を使って交流（花岡小）

#### 取組の視点

- キャリアステージに応じた教職員研修の充実
- 管理職研修による学校経営能力の向上
- 下松市教育研究所の機能の強化
- マネジメントサイクルに基づく学校運営の改善
- 機動的な校内組織の編成による組織力の向上
- 学校事務の効率化・平準化・適正化に向けた共同実施の充実
- 学校における働き方改革の推進

## 2

## 下松教育の基本目標

### 心豊かに生きる力を育む

情報化や技術革新、グローバル化等による社会変化が予測を超えた速さで進展している中、学校教育には、児童生徒が変化に柔軟に対応し、創造性を発揮しながら未来社会の形成に参画するための資質・能力を一層確実に育成していくことが求められます。

このことを踏まえ、本市学校教育においては、「心豊かに生きる力を育む」※1を基本目標に掲げ、教育改革を着実に推進していきます。

※1 本市では、「心豊かに生きる力」を、「目的を定めた上で、知識技能を活用しながら、現実場面のさまざまな問題を解決する能力」と「思いやりの心や感謝する心を持ち、他者と協調しながら、よりよい関係を構築していこうとする人間性」との両面で捉えています。

## 3

## めざす児童生徒像

### ふるさとに誇りをもち、たくましく未来を切り拓く、心豊かな下松っ子

- 郷土下松の豊かな自然や歴史、伝統、文化に学び、郷土への誇りと愛着心を育みます。
- 生命を大切にする心や他者を思いやる心など豊かな人間性を育みます。
- 自らの目標に向かって、主体的に学ぶ態度と確かな学力を育みます。

## 4

## 学校運営の基調

### 【コミュニティ・スクールのしくみを生かした学校づくり】

学校・家庭・地域が連携・協働して、児童生徒の資質・能力の育成を支えるコミュニティ・スクールの充実に努め、地域とともにある信頼される学校づくりを推進します。

### 【ICTの活用による教育活動の質の向上】

タブレット端末等を効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びとをバランスよく組み合わせた、質の高い教育活動を推進します。

### 【教職員の人材育成の推進】

「チームとしての学校」※2の実現に向け、多様な専門性を持つメンバーと効果的連携・分担し、組織的・協働的に諸課題の解決に取り組む能力の育成を図る研修を推進します。

※2 文科省が推奨する新しい学校像。校長のリーダーシップの下、カリキュラム、日々の教育活動、学校の資源などが一体的にマネジメントされ、教職員や学校内の多様な人材が、それぞれの専門性を生かして能力を発揮し、教育活動の充実に図ることができる学校を指す。

# 5 下松教育推進上の重点目標

## 重点目標1 地域とともにある学校づくりの推進

### 主要課題①

#### コミュニティ・スクールの取組の推進

豊かな学びを創造し、質の高い教育を実現するためには、保護者や地域住民の力を学校運営に生かすとともに、学校・家庭・地域が連携・協働し、市民総掛かりで教育に取り組むことが重要です。

このため、学校では、コミュニティ・スクールの取組を充実させ、保護者や地域の人々の学校運営への参画を促します。また、学校の校内組織とコミュニティ・スクールの組織をリンクさせ、学校評価を活用して、地域の人々と共に学校運営の改善・充実に努めます。さらに、これらの活動を通じて、児童生徒が地域への愛着を深められるよう、ふるさと教育の推進も図ります。

### 取組の視点

#### 1 課題の共有による取組の充実

学校・家庭・地域がめざす学校像や**児童生徒に獲得させたい資質・能力**を共有し、関係者が一体となって課題解決に取り組むとともに、学校評価を活用して、学校運営の改善と教育活動の充実に努めます。

#### 2 高等学校等や関係機関との連携の強化

高等学校等や市長部局等との連携を一層深め、地域ぐるみで子どもたちの豊かな成長を支えるためのコミュニティ・スクールの機能の充実に努めます。

#### 重点施策

- コミュニティ・スクール推進事業
- CSコーディネーター配置事業
- 地域学校協働活動推進員の委嘱
- 地域連携推進教育指導員の配置

### 主要課題②

#### 地域の特色を生かしたふるさと教育の推進

教育をより豊かにするためには、保護者や地域の人々と連携し、地域や伝統、文化を継承・発展させる取組など、地域の特色を生かした学習活動を充実させることが重要です。

このため、学校では、学校・地域連携カリキュラムを作成し、社会に開かれた教育課程の実現に努めるとともに、家庭・地域と連携・協働し、児童生徒に郷土下松への誇りと愛着を育むふるさと学習の充実に努めます。

### 取組の視点

#### 1 郷土の自然や伝統、文化を生かしたふるさと学習の充実

郷土の先人や、伝統的な行事、芸能、文化等についての学習を通じて、伝統や文化に関心・理解を深めるとともに郷土下松への誇りと愛着、貢献しようとする心や態度を育みます。

#### 2 地域に根ざし、地域の特色を生かした教育活動の充実

地域の人材や施設等、教育資源を積極的に活用して体験的な学習の充実に努めるとともに、地域の人々とふれあう機会を設け、地域に根ざし、地域の特色を生かした教育活動の充実に努めます。

#### 重点施策

- 社会科副読本「わたしたちのきょうと 下松」の活用
- 星ふるまのちの図書館教育推進事業
- 下松市総合計画子ども版の活用
- 次世代の豊かな心と夢を育むふれあいプロジェクト事業

## 主要課題③

### 安全・安心な学校づくりの推進

学校では、児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、危機管理体制を確立するとともに、児童生徒の危機対応能力と教職員の危機管理能力の向上を図ることが重要です。

このため、学校では、児童生徒が危険を予測し、回避する能力を身に付けさせる実践的な安全教育を推進するとともに、家庭・地域と連携・協働し、地域ぐるみの学校安全体制の整備に努めます。

## 取組の視点

### 1 地域ぐるみの学校安全の取組

児童生徒の安心と安全を確保するため、学校安全3領域の総合的な取組を推進するとともに、通学路の安全点検、危険予測学習（KYT）や防災・防犯訓練、危機管理マニュアルの見直し等に取り組みます。また、スクールガード活動など地域ぐるみで児童生徒の安全を見守る環境づくりを進めます。

### 2 新型コロナウイルス感染症対策の徹底

毎日の健康観察や手洗い・うがいの徹底、消毒作業等、「学校における新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」に基づき、基本的な感染症対策を徹底するとともに、学校におけるあらゆる教育活動を新型コロナウイルス感染症対策の視点から見直し、安全・安心な学校づくりを推進します。

#### 重点施策

- 「学校における新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」の徹底
- 下松市学校ガードボランティア活動事業
- 下松市通学路安全プログラムの実施
- 下松市スクールガード・アドバイザー事業

## 主要課題④

### 幼保・小及び小中の連携教育の推進

幼稚園・保育所等から小学校、小学校から中学校への段階では、児童生徒の生活・学習環境の変化や新たな人間関係の形成、指導方法の変化等に起因する課題（いわゆる「小1プロブレム」や「中1ギャップ」）が生じやすいことから、校種間の連携を一層推進し、その解決を図ることが重要です。

このため、学校では、中学校区ごとに共通した重点事項を掲げて取り組んだり、教職員相互の交流を促進したりするなど、円滑な接続と系統性・継続性のある一貫した教育の充実に努めます。

## 取組の視点

### 1 校種間の授業参観や児童生徒の交流活動の推進

幼稚園・保育所、小学校、中学校間の授業参観や合同研修会等を実施し、教職員が互いに教育内容や指導方法を学び合うとともに、幼児・児童・生徒間の交流活動の拡充を図るなど、子どもの発達や学びの連続性を意識した教育の推進に努めます。

### 2 中学校区の重点目標の設定と小・中学校の共通実践

中学校区ごとに、地域の特色や児童生徒の実態、保護者や地域住民等の願いを踏まえて、学習指導や生徒指導上の重点目標を設定し、小・中学校の教職員が共通実践することで、小中9年間を見通した継続性・一貫性のある教育を推進します。

#### 重点施策

- 下松市幼保・小及び小中連携教育推進事業
- スタートカリキュラムの活用

## 重点目標2

# 確かな学力と個性を育む教育の充実

### 主要課題⑤

## 自ら学び、考え、判断する力を育む教育の推進

21世紀を生き抜いていく児童生徒を心豊かにたくましく育てるためには、個性や創造性を伸ばし、一人ひとりに学ぶ力を育てる学習活動を推進していくことが重要です。  
このため、学校では、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成します。また、児童生徒が知的好奇心をもって主体的に学習に取り組む態度の育成に努めます。

### 取組の視点

#### 1 基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用する力の育成

観察・実験、レポート作成、論述など、知識・技能の活用を図る学習活動を工夫するとともに、横断的・総合的な課題について探求活動の充実を図り、思考力・判断力・表現力等の育成に努めます。

#### 2 主体的に学習に取り組む態度の育成と学習習慣の確立

児童生徒が学習意欲を高め、学ぶ楽しさや達成感を実感するとともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組みます。また、家庭学習の手引き等を活用し、家庭学習の習慣化に努めます。

#### 3 各教科等における言語活動の充実

立場や根拠を明確にして議論することや実験レポートの作成などにより、学習の基盤としての各教科等における言語活動の充実を図ります。

#### 4 理数教育の質の向上

観察・実験等を重視した学習活動を進め、科学的な見方や考え方を育成するとともに、数や図形の性質を調べたり表現したりする活動を通して、数学的な思考力・表現力を育成するなど、理数教育の質の向上を図ります。また、体験活動や実社会・実生活と関連付けた指導の充実を努めます。

#### 5 個に応じたきめ細かな学習指導と評価の工夫

少人数指導や個別指導、習熟の程度に応じた指導、補充的な学習や発展的な学習等、指導方法や指導形態を工夫・改善し、きめ細かな指導の充実を図ります。また、指導目標に即した評価規準や評価方法を明確にし、指導と評価の一体化を図ることにより、一人ひとりの学力と学習意欲を高めます。

#### 6 「キラリくだまつ授業づくり」を活用した授業改善

児童生徒の学力の確実な定着と向上に向け、学校の課題を明確にし、組織的に授業改善に取り組むとともに、「キラリくだまつ授業づくり」を活用し、日々の授業実践を振り返りながら児童生徒の学習力を育てます。

#### 7 組織的な取組の推進

全国学力・学習状況調査及び山口県学力定着状況確認問題等の結果分析・検証をとおして、学習指導の成果と課題を把握するとともに、指導法の工夫・改善に努めます。また、教育内容や時間の適切な配分、実施状況に基づく改善などとおして、教育課程に基づく教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図るカリキュラム・マネジメントの確立に努めます。

### 重点施策

- 下松市学習指導実践研究推進事業
- 下松市楽しい理科授業づくりセミナー、理科ボランティア事業
- 全国学力・学習状況調査の結果分析と学力向上プランの改善・充実
- 学力定着状況確認問題、やまぐち学習支援プログラムの活用促進

## 主要課題⑥

### 自立と社会参加を支える特別支援教育の推進

障害の重度・重複化への対応や発達障害のある児童生徒への支援など、**特別支援教育の在り方は大きく変化**しています。このような教育の状況の変化に適切に対応していくために、一人ひとりの障害の特性や教育的ニーズを把握し、適切な相談・支援を行う特別支援教育を積極的に推進することが重要です。

このため、学校では、全ての教職員が特別支援教育についての正しい理解と認識を深め、児童生徒の自立と社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、校内支援体制の充実に努めます。

#### 取組の視点

##### 1 一人ひとりの教育的ニーズに応じた相談・支援体制の充実

校内委員会等の整備や個別の教育支援計画の作成等、障害のある児童生徒一人ひとりの実情を踏まえたきめ細かな相談・支援体制の構築に努めます。また、教育的ニーズに応じた適切な相談や支援の充実に図るため、医療・福祉等の関係機関との一層の連携を図ります。

##### 2 教職員の専門性の向上を図る研修の充実

障害のある児童生徒一人ひとりの状況等を的確に把握し、早期から適切な指導及び必要な支援を行うことができるよう、研修会や事例検討会を計画的に実施し、教職員の専門性の向上に努めます。

#### 重点施策

- 地域コーディネーター、校内コーディネーターとの連携強化
- 教員補助員、スクールカウンセラー等の配置
- 下松市教育支援委員会、**校内コーディネーター等研修会の開催**

## 主要課題⑦

### 社会の変化や時代の進展に対応した教育の推進

Society5.0時代の到来や、持続可能な開発目標（SDGs）達成に向けた取組の普及、グローバル化の進展など、社会が急速に変化する中において、教育は豊かな人間性の育成など、時代を超えても変わらない普遍的な課題に取り組むとともに、こうした社会の変化に柔軟かつ的確に対応することが重要です。

このため、学校ではICT環境の整備と効果的な活用を進め、情報活用能力の育成を図るとともに、国際教育を充実させ、21世紀をたくましく生き抜く児童生徒の資質・能力の育成に努めます。

#### 取組の視点

##### 1 ICTの効果的活用による情報活用能力を育む情報教育の推進

学校教育課にICT教育推進室を新設するとともに、ICT担当教育指導員を増員し、**学校支援体制を強化することで、ICTを効果的に活用した授業づくりや校内研修の充実に推進します。また、教員のニーズをとらえて研修を実施し、ICT活用力や指導スキルの向上を図るとともに、家庭と連携し情報モラルに関する指導の充実に図り、情報社会の中で正しく判断して行動できる児童生徒の育成に努めます。**

##### 2 グローバル化に対応した教育及び国際教育の推進

グローバル化に対応した教育を推進するため、小学校教員の指導力や専門性を高める研修体制の充実に図るとともに、小中連携による英語教育を推進します。また、ALTを活用して、実践的コミュニケーション能力の育成や豊かな国際感覚を身に付けた児童生徒の育成に努めます。さらに、諸外国の伝統・文化を理解し、尊重する態度や国際協調・協力を実践する態度の育成に努めます。

#### 重点施策

- ICT教育推進事業
- ICT担当教育指導員の配置
- 小学校ALT派遣事業、中学校ALT派遣事業
- 下松市立小学校教員海外派遣研修事業
- プログラミング教育推進事業
- グローバル化に対応した英語教育推進事業

## 重点目標3

# 豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

## 主要課題⑧

### 豊かな人間性や社会性を培う教育の推進

児童生徒を取り巻く環境が大きく変化する中、生命を大切に、人権を尊重する心や正義感や公正さを重んじる心、美しいものや自然に感動する心など、「生きる力」の核となる豊かな人間性を培うとともに、生涯にわたって、自己実現を図っていくことができるような資質・能力や態度を育成することが重要です。

このため、学校では、体験活動を積極的に取り入れ、児童生徒の心に響く道徳教育を推進するとともに、児童生徒が自らの生き方を考え、主体的に進路を選択できるよう指導の充実に努めます。

## 取組の視点

### 1 児童生徒の心に響く道徳教育の推進

新学習指導要領による「特別の教科 道徳」の趣旨や理念の実現に向け、道徳教育推進教師を中心とした指導体制の充実を図ります。また、「考え・議論する道徳」の実現に向け、授業展開の工夫や魅力的な教材の開発に努めます。

### 2 豊かな感性を育む読書活動の推進

全校で取り組む読書活動や学校図書館を活用した授業、ボランティアによる読み聞かせ活動等を通じて、児童生徒の読書への意欲や関心を高め、感性を育む読書活動の充実に取り組みます。また、**学校司書**を配置し、学校図書館の情報のセンターとしての機能の充実に努めます。

### 3 自らの未来を切り拓くキャリア教育の推進

小・中学校を通じて、系統的・計画的なキャリア教育を推進し、児童生徒一人ひとりが夢や目標をもち、社会人として自立できるよう、自分にふさわしい生き方を実現しようとする意欲や態度、能力の育成に努めます。

### 4 豊かな心を育むあいさつ運動や体験活動の充実

児童生徒の豊かな心を育み、明るく住みよい地域づくりを進めるため、学校・家庭・地域が一体となってあいさつ運動を全市的に推進します。また、宿泊体験や勤労体験、自然体験、福祉・ボランティア体験、文化や芸術に触れる体験等、多様な体験を重視した教育活動の充実を図ります。

### 5 規範意識の醸成とコミュニケーション能力を育成する指導の充実

発達段階に応じ、集団生活や社会生活におけるきまりやルール、約束などの規範に基づいて、主体的に判断し行動しようとする規範意識の醸成に努めます。また、学校の様々な教育活動を通じて、互いが信頼し合える共感的な人間関係や豊かなコミュニケーション能力の育成を図ります。

### 6 生徒指導上の諸課題への組織的な取組の充実・強化

いじめや不登校等の未然防止や早期発見・早期対応による問題解決を図るため、組織的な指導体制を構築し、学校・家庭・地域・関係機関の連携体制を強化します。また、児童生徒に寄り添う指導や支援の継続的な取組をとって、一人ひとりの自己指導能力の育成に努めます。

### 7 一人ひとりを大切にする人権教育の推進

「山口県人権推進指針」や「山口県人権教育推進資料」を踏まえ、人権尊重の意識を高め、児童生徒一人ひとりを大切にする教育を組織的・計画的に推進するため、校内の推進体制の充実を図るとともに、学校・家庭・地域が連携した取組を推進します。

## 重点施策

- 心豊かな子どもを育てる推進事業（「下松市いじめ防止基本方針（改訂版）」を踏まえた取組）
- 下松市道徳教育実践研究推進事業
- 「心の教室相談員」活用事業
- 下松市教育支援センター「希望の星ラウンジ」指導員等の配置
- 下松市カウンセリングルーム「くだまつふれあいラウンジ」へのカウンセラーの配置
- スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの派遣
- 下松市小中学校人権教育研究事業
- 下松市**学校司書**配置事業



## 主要課題⑨

### 体力の向上と健康の保持増進を図る健康教育の推進

児童生徒の生活習慣の変化に伴い、体力・運動能力の低下や生活習慣病など健康についての新たな課題が生じる中、正しい食習慣などの生活習慣の基礎を身に付け、自己の体力向上と心身の健康づくりに主体的に取り組む態度を育むことが重要です。

このため、学校では、児童生徒が自らの健康を守る食生活や食習慣を実践する態度の育成など健康教育の充実を図るとともに、運動することの喜びや楽しさを実感できるような学校体育の充実に努めます。

#### 取組の視点

##### 1 運動に親しみ、体力の向上をめざす学校体育の充実

児童生徒が自ら進んで運動やスポーツに親しみ、健康で活力ある生活を営むことができるよう、体育科や保健体育科において基礎的な身体能力の育成を図ります。また、特別活動や運動部活動なども含めた学校の教育活動全体を通じて、体力向上に向けた効果的な取組に努めます。

##### 2 学校・家庭・地域のつながりを意識した食育の推進

栄養教諭を中核として、学校や家庭、地域、関係機関と連携しながら特色ある食育を推進し、食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に付けさせ、自ら健康管理ができる資質能力の育成に努めます。

##### 3 安全で安心な学校給食の提供

栄養教諭と連携し、学校給食を活用した食に関する効果的な指導に努めるとともに、学校と給食センターが連携を図り、安全で安心な給食の提供に努めます。

##### 4 心身の健康の保持増進を図る健康教育の推進

生活習慣の改善や生活習慣病の予防等に向け、学校保健委員会や家庭・地域と連携し、生活リズムや食生活、運動等を含めた望ましい生活習慣の確立に向けた取組を推進します。また、児童生徒の発達段階に応じた性教育や薬物乱用防止教育、**がん教育等**を計画的・組織的に実施します。

##### 5 アレルギー疾患に対する取組の充実

食物アレルギーのある児童生徒が増加する中、アレルギー疾患について理解を深めるとともに、保護者や関係機関等と緊密に連携し、緊急時に全教職員が迅速・適切に対応することができるよう研修の充実に努めます。

#### 重点施策

- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果分析と「新 体力向上プログラム」の改善・充実
- 「まるごと！下松給食の日」の実施
- つながる食育推進事業
- 下松市学校保健研修会の開催



■ 地域の方とポッチャ体験(豊井小)



■ 全校運動会「さんさ踊り」(久保小)



■ 1年生に掃除の仕方を説明(中村小)

## 重点目標4

# 組織的・機動的な学校づくりの推進

### 主要課題⑩

## 学校の総合力の向上に向けた組織的な学校運営の推進

信頼される学校づくりのためには、教職員の指導力や教育にかける情熱はもとより、一人ひとりの教職員の専門性やよさを生かしながら、学校の総合力を高め、教育の質の向上を図ることが重要です。

このため、学校では、校長のリーダーシップのもと、教職員研修の充実を図るとともに、学校評価システム等の組織マネジメントの改善・充実を図ります。また、働き方改革を推進するとともに、教職員がそれぞれの役割に応じて学校運営に積極的に参画する校内体制の整備と組織力の強化に努めます。

### 取組の視点

#### 1 キャリアステージに応じた教職員研修の充実

やまぐち総合教育支援センターや市教育委員会主催による研修会等を効果的に活用し、教職員のキャリアステージに応じた人材育成に計画的・継続的に取り組むとともに、OJTや自己啓発研修を通じて、自らの専門分野の伸長と課題の克服に努めます。

#### 2 管理職研修による学校経営能力の向上

教育法規に基づく適切な学校管理運営や危機管理、学校組織マネジメント、メンタルヘルスマネジメント、服務規律、人材育成、業務改善等に関する管理職研修の充実を図り、直面する教育課題に組織的に対応できる、管理職の総合的な経営能力の向上を図ります。

#### 3 下松市教育研究所の機能の強化

今日的な教育課題に対応した調査研究活動の充実、教職員に求められる資質・能力や指導力の向上に向け、専門的な指導ができる教育指導員を配置し、下松市教育研究所の機能の強化を図ります。また、全国の先進地域への教育研修生派遣を拡充し、教育に対する強い情熱と高い志をもった魅力ある教職員の育成に努めます。

#### 4 マネジメントサイクルに基づく学校運営の改善

学校評価や教職員評価、授業評価等の実施にあたっては、全教職員がそれぞれの評価の意義と目的を共通理解し、組織的・計画的に行います。また、P（計画）・D（実践）・C（評価）・A（改善）のマネジメントサイクルで学校運営の改善に努め、活力ある学校づくりの推進を図ります。

#### 5 機動的な校内組織の編成による組織力の向上

「チームとしての学校」の実現に向け、学校校長のリーダーシップのもと全教職員が一致協力し、マネジメント能力を発揮しながら、組織的・機動的な学校運営が行われるよう、校務分掌の再編など校内組織の改善を図ります。また、校内会議のスリム化を進め、校内における意思決定過程の明確化と迅速化を図り、学校全体の組織力の向上に努めます。

#### 6 学校事務の効率化・平準化・適正化に向けた共同実施の充実

事務の共同実施により、事務処理体制の整備や学校事務の効率化・平準化・適正化を図るとともに、教員がきめ細やかな学習指導や教育活動に専念できるための事務処理等の体制づくりに取り組み、教育環境の整備や学校の活性化を図ります。

#### 7 学校における働き方改革の推進

持続可能な学校指導・運営体制の構築に向けて、学校における業務の見直しや部活動における休養日の設定を含めた部活動の適切な運営等、働き方改革に関する総合的な取組を推進します。

### 重点施策

- 人材育成総合推進事業、管理職研修の改善・充実
- 下松市教育研究所員集会の開催
- 「学校事務の共同実施」実践研究事業
- 下松市教育研究所教育指導員の配置
- 教員業務支援員や部活動指導員の配置